

現地見学会の実施

柏崎周辺農業水利事業所

平成 24 年 9 月 10 日（月）に群馬用土地改良区の職員及び箕郷^{みさと}管理区の組合員の計 22 人が当事業所管内にある農業水利施設の視察に訪れました。当事業所職員も同行し、事業や施設の概要について説明を行いました。当日は天候にも恵まれ、真夏のような日差しの下、汗をかきながらの現地視察になりました。

道の駅じょんのびの里高柳で待ち合わせをした後、柏崎市高柳町にある^{とちはら}栃ヶ原ダムを視察しました。栃ヶ原ダムでは、ダムの管理棟内において当事業所の石川技術次長より柏崎周辺農業水利事業の概要や栃ヶ原ダムの役割等について説明をしました。説明の中で、貯水率が 8 月末には 26%まで下がり、少雨であった今年はダムの水を十分に活用することができたとの話もありました。管理棟での説明後はダムの天端を歩いて取水塔へ移動し、取水ゲート等について説明をしました。ダムの天端では参加者から「現在の水位は満水位からどの程度下がっているのか」といった質問が出されるなど、興味深くダムを見学していました。

その後、栃ヶ原ダムの下流に位置する善根頭^{ぜんこん}首工を見学しました。ここでは川からの取水方法や当事業で行った改修箇所について説明をしました。また、頭首工の左岸側にある射流分流水で、取水した水を 1:2.8 に分けて、2.8 は河川に戻しているという説明もしました。この地域では下流の地域との水争いがあったという歴史から、このような射流分流水を設置したという話をすると、参加者から「水争いがあるのはどこも一緒なのだろうが、このようにはっきり分かる形で分水しているのは珍しい。」という感想を聞くことができました。

善根頭首工の見学を終えた参加者は柏崎市内にある柏崎土地改良区を訪問しました。柏崎土地改良区では柏崎刈羽地域の農業の歴史や今回見学できなかった施設の説明のほか、柏崎でブランド化されている「柏崎野菜」についても紹介しました。その後、柏崎土地改良区の理事長より柏崎刈羽地域の農業や農業用水の管理につい



栃ヶ原ダム管理棟で事業概要の説明



善根頭首工の取水方法について

て説明を受けました。また、柏崎土地改良区に併設されている中央管理所で、柏崎土地改良区の職員から当地区の農業用水を管理するシステムや各施設の監視体制について説明を受け、見学会は終了しました。

当事業所では今回のような見学会を機に柏崎周辺農業水利事業について説明し、当事業や農業農村整備事業について理解を深めてもらうことが重要であると考え、今後も機会がある度に見学会等を実施していく考えです。



中央管理所のモニターを見る参加者